

事業番号	5	事業名等	地域コミュニティ事業補助金
仕分け結果	市が実施(要改善)		担当課 協働推進室

評価(判定)	人数(人)	市民評価委員の主な評価(判定)理由等
廃止	4	・市の今の財政状況では、実施するべきでない。
民間が実施	4	・地域の力を結集するキッカケになるのでは。 ・イベントを各担当課に分散させないで、整理統合したら良いのでは。 ・地域が中心となり、地域に任せることが必要。 ・自分達で楽しく行うために見直しを。
国・県・広域行政が実施	0	
市が実施(要改善)	17	・市民の創意工夫により利益を上げることが必要。 ・市の負担割合をイベント全体ではなく、個別のイベントで考えるべき。 ・市の介入も必要かもしれないが、地域の力でもっとカバーできるのでは。 ・イベントが重複しているので、補助金が必要なものだけに絞って補助しては。 ・削減できる部分はまだあるのでは。
市が実施(現行どおり)	2	・地域活性のために、今後も自信と誇りを持って取り組んでほしい。
市が実施(拡大・充実)	0	

市民評価委員の評価(判定)理由が、類似した内容のものについては重複掲載していません。
 評価(判定)項目と理由の内容が合致しない場合も掲載していません。
 また、市民評価委員全員が、評価(判定)理由を付しているとは限りません。

仕分け人の講評
<p>祭りは、地元あるいは地域の人達が主体となるのが本来の姿であり、地元・地域が盛り上がらない限り、観光にもつながらない。お金でもって祭りが盛り上がるのは本末転倒である。多くの観光客が来るのは地元が楽しいからであり、このことが波及効果として行ってみようということになる。お金がないならできないという祭りはやめるべきである。元々は、行政がお金を出して祭りをやっていたわけではない。お金が出ると、それを前提にものごとを考えるものである。ただ、観光イベントは少し違って、行政と一体となってやることは考えられる。将来どういった方向で見直していくか議論していただきたい。その方がもっと祭りがおもしろくなるはずである。</p>